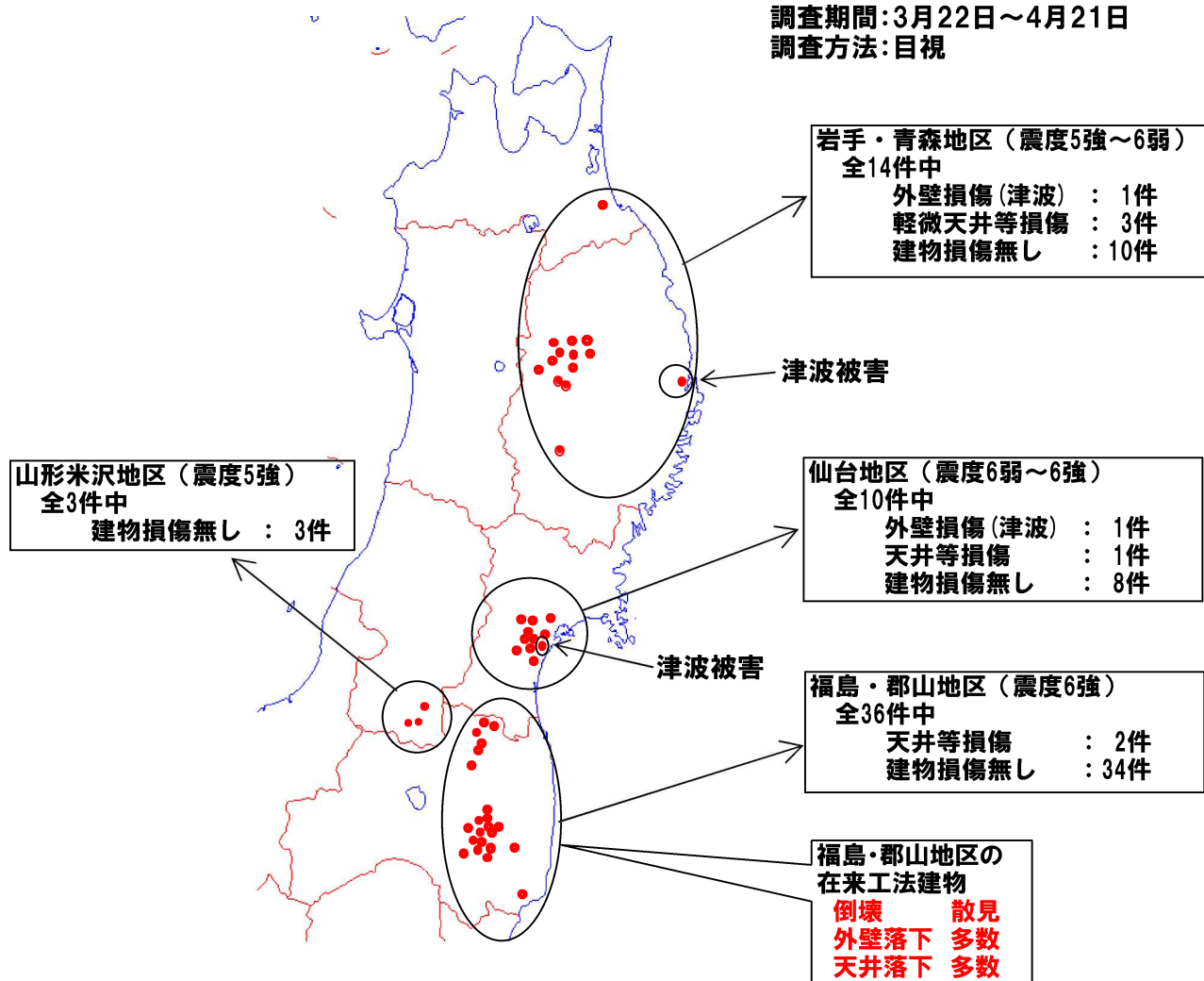
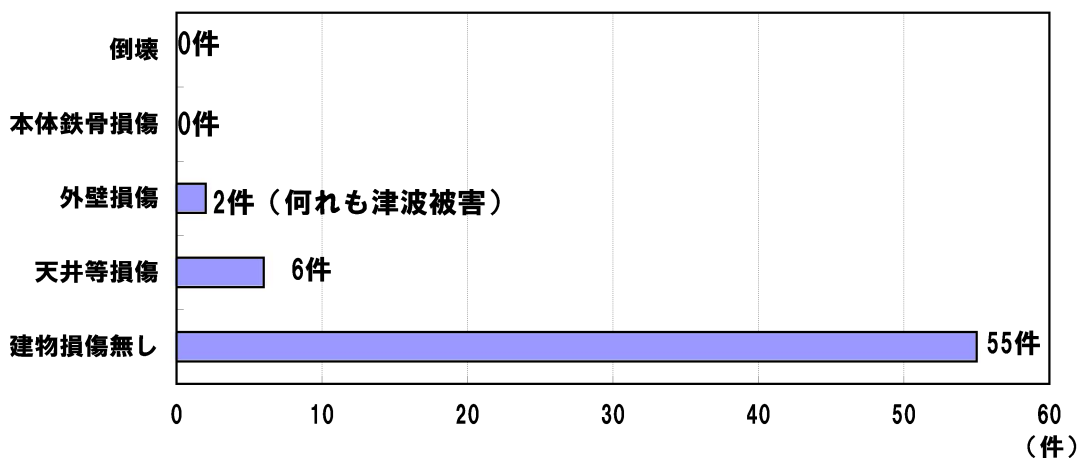


サンベース株式会社は3月11日に発生致しました東日本大震災で震度の大きかった東北5県で当社のSB固定柱脚工法が採用された建物63件の緊急調査を行いました。

調査期間:3月22日～4月21日
調査方法:目視



東日本大震災 SB固定柱脚工法採用建物調査結果(東北5県)



津波被害以外は軽微な天井損傷が6件、他は損傷無しでした。震度6強を記録した地区の一般建物の被害状況との比較からSB固定柱脚工法の強さが実証された結果です。

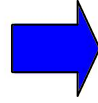
サンベース株式会社は「命を守る建物造り」に貢献すべく、
これからも地震に強いSB固定柱脚工法の普及に努めてまいります。

SB固定柱脚工法採用建物の津波被害(宮古市)



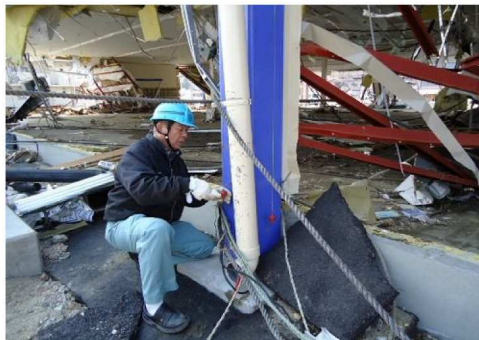
SB固定柱脚工法鉄骨建て方時

海の堤防から10m程離れた場所に建てられました。



津波被害後

津波で外壁が流されてしまいましたが、鉄骨の本体骨組みはしっかり残っていました。



鉄骨柱の倒れ損傷調査

津波による水圧で建物が傾いているかを調査しましたが、柱の倒れはありませんでした。



SB基礎の状況

津波でSB基礎の下部の基礎地盤の土が一部流されていました。在来工法の独立フーチング基礎でしたら、基礎が傾いていたかもしれません。

SB基礎は連続基礎ですので基礎下の一部に空隙があっても短期的には健全を維持できます。改修時にコンクリートを充填して埋めれば問題ないでしょう。

調査の結果を受け、この建物は外装工事と内装工事による復旧を計画することになりました。